



南海グループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



2021年3月29日

株式会社 Luup

西日本旅客鉄道株式会社

南海電気鉄道株式会社

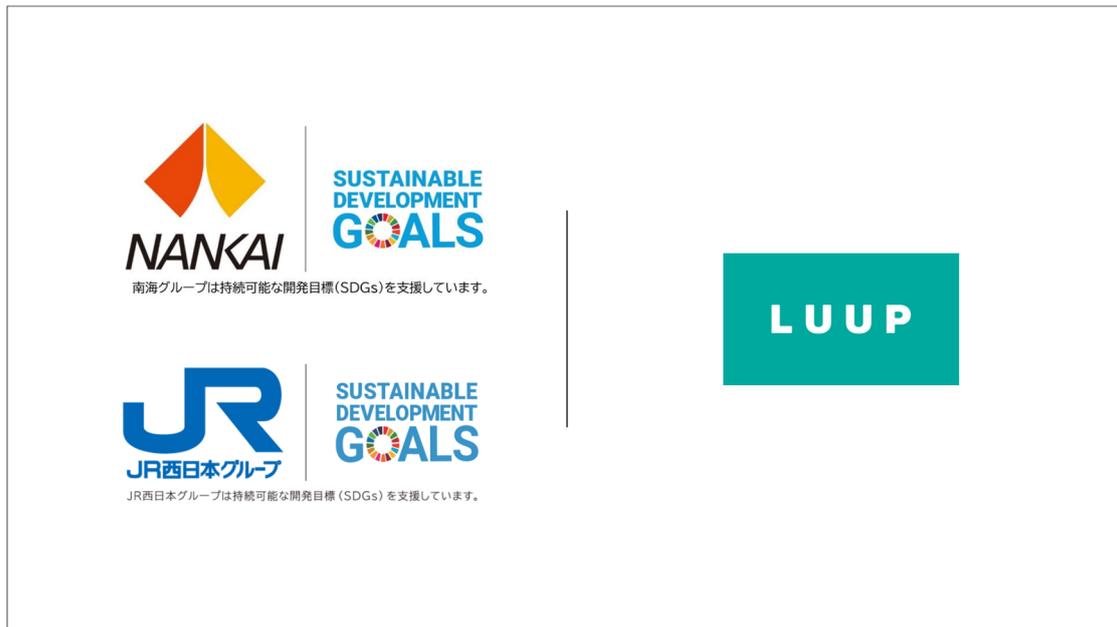
次世代電動シェアサイクルの「LUUP」が

JR 西日本・南海電鉄と連携し、大阪にて 4 月よりサービス開始

電動アシスト自転車から開始、2021 年春から夏にかけて電動キックボード導入を予定

株式会社 Luup（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長兼 CEO：岡井大輝、以下「Luup」）は、西日本旅客鉄道株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：長谷川一明、以下「JR 西日本」）と南海電気鉄道株式会社（本社：大阪市浪速区、社長：遠北光彦、以下「南海電鉄」）と連携し、2021 年 4 月 2 日（金）より大阪のキタ（梅田）・ミナミ（難波、天王寺）の 2 エリアにて電動マイクロモビリティのシェアリングサービスを開始することをお知らせします。南海電鉄と JR 西日本が管理する駅の空きスペースなどにポートを設置し、駅を訪れる方が小型電動アシスト自転車のシェアリングサービスを利用することが可能となります。2021 年の春から夏にかけて同ポートでの電動キックボードの導入も予定（※1）しており、街の人々に安全で快適な短距離移動手段を提供します。本取り組みを通じて、誰もがより安全で暮らしやすい持続可能な街づくりに貢献します。

※1…電動キックボードの導入は、今後申請する新事業活動計画が、規制所管大臣の同意を得て主務大臣に認定されることを条件に実証実験として実施するものです。新事業活動計画の認定は 4 月下旬以降を予定しています。



画像 1 : 連携する各社

背景

Luup は、電動・小型・一人乗りのマイクロモビリティのシェアリングサービスを通して、日本に新しい短距離移動インフラを創ります。電動アシスト自転車や電動キックボードのみならず、電動・小型・一人乗りの電動マイクロモビリティを包括的に取り扱い、ファースト・ラストワンマイルの移動手段を確立し、全ての人が自由に移動できる未来を目指しています。

JR 西日本は、公共交通を担う地域共生企業として西日本エリアの交流人口、関係人口を増加させることを目指す中で、デジタル技術を活用して移動や生活サービスをシームレスに提供する「MaaS」を重要な経営課題ととらえ、MaaS アプリ「WESTER」「setowa」の提供、「関西 MaaS 検討会」への参画、島根県邑南町における地域公共交通のデジタル化に向けた配車システムの実証実験など様々な取り組みを進めています。

南海電鉄は、不透明な事業環境の中でも継続・成長し続ける事業体であり続けるために、既存事業のさらなる深化と同時に、新たな事業領域の探索に取り組んでいます。具体的には、短距離の移動関連ツール（高速動画案内サービス、傘シェアリング事業「choi-casa」）、ユーザーの趣味趣向に特化したツール（音楽活動トータル支援サービス「EveryBuddy」、テニスプレーヤープラットフォームサービス「LAWN」）などについて、社外パートナーとともに、新たな価値の創出を図るべく取り組みを進めています。

大阪を代表する交通事業者と Luup が事業連携を開始することにより、新しい移動手段を大阪の皆様提供すると共に、将来的な MaaS の実現や、誰もがより安全で住みやすい持続可能な街づくりに貢献します。

｜ 連携内容

Luup・JR 西日本・南海電鉄は相互に連携して、駅や不動産などの空きスペースにポートを設置していくことで、新しい移動手段を大阪の皆様にご提供すると共に、将来的な MaaS の実現や、より安全で住みやすい街づくりを目指します。

｜ 設置予定のポートについて

2021 年 4 月 2 日（金）より、JR 西日本と南海電鉄が管理する以下の場所にポートを設置予定です。

- ・大阪駅（大阪府大阪市北区梅田 3-1-1）（利用可能台数：70 台）
- ・天王寺駅（大阪府大阪市天王寺区悲田院町 10-45）（30 台）
- ・森ノ宮駅北口（大阪府大阪市中央区森ノ宮中央 1-1-45）（8 台）
- ・森ノ宮駅南口（大阪府大阪市中央区森ノ宮中央 1-1-45）（15 台）
- ・大阪城公園駅（大阪府大阪市中央区大阪城 3）（10 台）
- ・桜ノ宮駅（大阪府大阪市都島区中野町 5 丁目 1）（15 台）
- ・南海なんば西口駐輪場（大阪府大阪市中央区難波 5-1-60）（7 台）

｜ 「LUUP」サービス概要

LUUP は、電動マイクロモビリティのシェアリングサービスです。街じゅうに高密度で設置されているポートから、小型電動アシスト自転車を借りることができます。



画像 2：LUUPとは

【特徴】

1. 電動アシスト自転車を小型に設計しているため、小さなスペースにもポート設置が可能。
2. 小さなスペースにポート設置ができることから、高密度でのポート設置が実現。
3. 将来的には電動キックボードを含む様々な電動マイクロモビリティを導入予定。

【ご利用方法】

1. 街中の LUUP ポートを見つけて、乗りたい小型電動アシスト自転車を選びます。ポートの場所に加えて、台数、電池残量はアプリ内からも確認できます。
2. アプリを立ち上げて、QR コードをカメラで読み取ります。
3. アプリ内マップから、目的地ポートを予約します。目的地ポートはあとから変更することができます。
4. 目的地ポートまで安全にライドを楽しみます。
5. 目的地ポートに到着したら、自転車の鍵をかけ、枠線内に駐車し、写真を撮影します。
6. 写真を送信し、決済を行います。

※LUUP のご利用にはクレジットカード情報の登録が必要です。



画像 3 : LUUP のご利用方法

【料金】

初乗り 10 分 110 円、それ以降は 1 分 16.5 円（税込）

【アプリダウンロード URL】

<https://luup.onelink.me/Myjb/cfcdb04a>

| 今後の展望

街の人々にとってより安全で快適な移動手段を提供するべく、Luup、JR 西日本、南海電鉄の 3 社間

の連携を継続、強化します。具体的には、キタ（梅田）・ミナミ（難波、天王寺）の2エリアを中心にさらなるポートの設置を進める他、2021年の春から夏に予定している電動キックボードの導入に向けた準備を行います。

LuupとJR西日本グループ、南海グループでは、SDGsへの取組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDGsの目標アイコン」を明示しています。
今回ご案内の取組みは、以下のSDGs目標に貢献していると考えています。

